

フランス・コンピエーニュ市へ中学生を派遣

「中学生国際交流事業」は、異国の文化や社会などに直接触れる体験を通じて見聞を広げ、今後ますます国際化が進む社会で活躍できる人材育成を目的としています。
パリ市で起きた同時多発テロ以降、3年間派遣を見送っていましたが、フランス国内の非常事態宣言が解除されたこと、平成30年に姉妹都市提携から30周年の節目を迎えたことから、コンピエーニュ市への派遣を再開することとなりました。

市内の中学2年生
14人が参加

姉妹都市提携の経緯

1987年、日本ルセル白河工場（現在のEAファーマ(株)福島事業所）の落成式で、コンピエーニュ市に工場がある同社の親会社、ルセル・ユクラフ社の副社長が姉妹都市を提案したことがきっかけです。
コンピエーニュ市は歴史と伝統のある街であり、人口規模や緑の豊かさなど、本市との類似性があることから、1988年10月20日に姉妹都市提携の盟約を締結しました。
以降、教育・文化・スポーツ・観光・産業などの交流を深め、現在に至っています。

本庁舎企画政策課 内2326



(ピエール・ダリ高校では100人以上の生徒と交流しました)

1日目 (3月23日) 出発・ホストファミリーとの対面

午前4時30分、保護者や市関係者に見送られ、市役所を出発。

羽田空港から12時間のフライトを経て、フランスに到着後、バスでコンピエーニュ市へ移動。

同市庁舎でホストファミリーと対面。事前研修(全4回実施)で習ったフランス語で挨拶し、各家庭へ向かいました。



事前研修でのフランス語学習

2日目 (3月24日) ホストファミリーとの交流

ボウリング場(初体験の生徒も!)に行ったり、お城を巡ったり、一緒に料理をしたりと、ホストファミリーとの交流を深めました。



ホストファミリーに迎えられる派遣生

3日目 (3月25日) ピエール・ダリ高校との交流

ピエール・ダリ高校で日本語を学んでいる生徒と一緒に、折り紙をしたり、筆ペンで文字を書いたり、日本のアニメソングと一緒に歌ったりしました。

同校学食で昼食をとった後、市内を見学し、夜はホストファミリーやコンピエーニュ白河友好協会の会員と交流会を行いました。



「山折り」ってフランス語で何て言うの?

4日目 (3月26日) ホストファミリーとの別れ

3日間お世話になったホストファミリーとの別れを惜しみつつ、パリへ。移動中、ヴェルサイユ宮殿などを見学しました。



ヴェルサイユ宮殿

5・6日目 (3月27日・28日) パリ市内見学

パリ市内のチョコレート博物館でチョコレート作りを体験したり、ルーブル美術館・エトワール凱旋門・エッフェル塔・モンマルトルの丘などを見学したりしました。



チョコレート作り体験

7日目 (3月29日) 帰国

無事市役所に到着し、保護者や市関係者に帰国を報告しました。



エトワール凱旋門

5月13日 帰国報告会

保護者や各学校長、市関係者を前に、派遣生がフランスで学んだこと、感じたことなどを発表しました。

- ホストファミリーがとても親切だった
- コンピエーニュ市の方がとても優しかった
- フランスの文化や歴史を学べて良かった
- フランス語や英語が分からなかったが、ジェスチャーでコミュニケーションをとることができた
- あこがれの観光地を見学できて良かった
- またフランスに行けるようになりたい



1. 報告会に出席した派遣生と内藤派遣団団長(中央)・市関係者
2. 学んだことを発表する派遣生

姉妹都市提携30周年記念式典に出席

コンピエーニュ市で毎年行われる「ジャンヌ・ダルク祭」に併せて、同市の姉妹都市である本市・ローリー市(アメリカ合衆国)・ユイ市(ベルギー)が集合し、記念式典が開催されました。



1. 各姉妹都市の関係者が出席した記念式典
2. 覚書を交わすコンピエーニュ市長と藤田市長公室長
3. マリニ市長・アリエル副市長と本市関係者

Shirakawa-Compiegne-Paris-Shirakawa

Shirakawa-Future